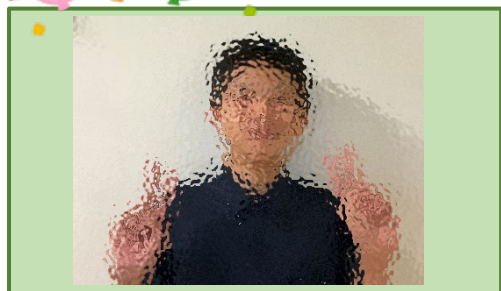


第5号では新たな仲間と附中祭展示発表の様子を紹介します。附中祭ではたくさんの方にご来場いただき、大盛況でした。ご来場いただきまして誠にありがとうございました！



編入生

僕はシンガポールに4年間、タイで2年3か月を過ごし、帰国しました。どちらも1年中暑い国だったので、雪が降る日本の冬がとても楽しみです。シンガポールでは日本人学校、タイではインターナショナルスクールに通い、さまざまな国の人と話すことでコミュニケーション力をつけました。この経験を生かし、附中生活でもたくさんのことを学びたいです。

～保護者の方より～

住めば都

海外駐在が決まった時、私は呆然とした。外国に住むなんて想像もしていなかったからだ。当時はコロナ禍で入国規制が厳しく、加えて愛犬の輸送にも大変苦労した。今では笑い話だが、渡星後住んでいたコンドミニアムの屋上で、日本の方角を向いて涙したほど初めは本当につらかった。

それでも徐々に生活に慣れてきた私は、元々好きだった路線図を眺めては地下鉄やバスを駆使して出歩くようになった。規制緩和後には日本人学校の方達と出かけたり、二胡という中国楽器を習うことで世代を超えた幅広い友達ができたりと、刺激的な日々を送ることができた。ありがたいことに帰国してからその縁は続いている。

4年前の自分に言いたい。飛び込んでみるのも悪くないよと。

帰国生徒学習会保護者

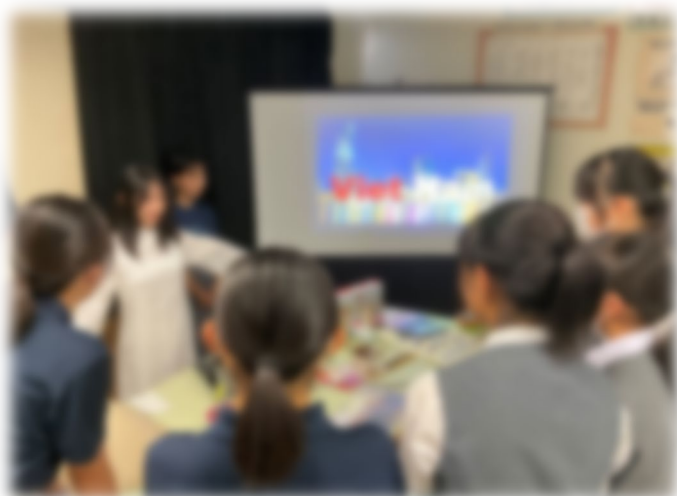
上海市ロックダウン

2022年3月27日PM10時、2時間後上海市をロックダウンすることが上海市政府から発令され、3月28日0時0分ロックダウンとなりました。当初は7日間封鎖するとの発令でしたが、その後無期限となり、いつになったら終わるのか、と不安の中暮らしたことを思い出します。春からの新学期も開始されず、それどころか日本人学校の先生方も上海に来ることさえもできず、オンライン学習が開始されたのも5月に入ってからで、教科書も行き渡らず、ネット状況も悪い中での学習環境を余儀なくされました。学校が開始されたのは同年9月からで、子どもたちには辛い毎日だったと思いますし、決して良い思い出とはなりませんが、人口2,500万人の大都市を封鎖する、という歴史的な大事件の中、その渦中にいたことは忘れてほしくない、と思います。

帰国生徒学習会保護者



附中祭展示発表の様子



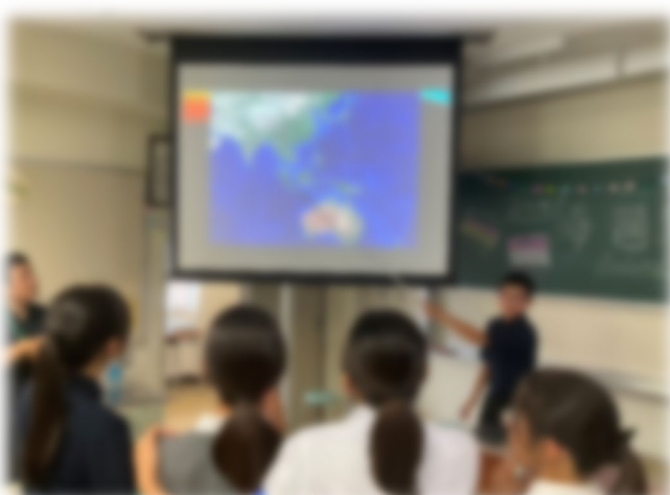
▲学校行事の服装を紹介したり、現地の食べ物を展示したりしていました。



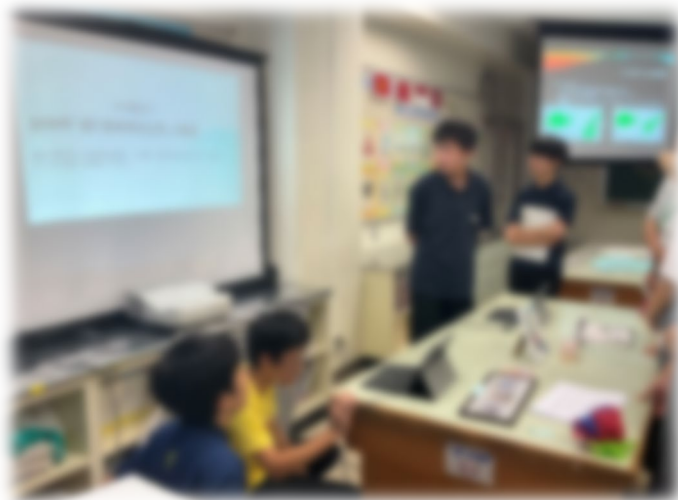
▲現地の生活について、日本との違いを紹介していました。



▲学校生活について紹介していました。現地の時間割について話が盛り上がったようです。



▲現地の気候について紹介していました。また、トランプやお金を展示して説明をしました。



▲それぞれの国や地域のよさ、住んでみて感じたことを発表していました。



▲現地の言葉の読み方についてクイズを出して、楽しく交流していました。